

相模原稲門会の皆様へ ご挨拶

相模原稲門会の皆様方におかれましてはご健勝にて、各分野でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から、天野会長を中心に会員の皆様が一丸となって多彩な校友会活動を積極的に展開され、早稲田大学および早稲田大学校友会の発展にご尽力いただいておりますこと、誠に有難く、早稲田大学および校友会を代表して心からの敬意と感謝の意を表します。

昨年から世界的に流行しております新型コロナウイルスですが、今年度に入ってから、国内の複数の地域で「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」が発出されるなど、まだ油断のできない状況が続いております。相模原稲門会の皆様におかれましても、どうかくれぐれも体調管理にお努めください。

さて、私、田中愛治が総長に就任してから、早いもので約2年半が経過しました。私は「世界で輝く WASEDA」の実現を目指して、総長としてこの期間、様々な改革推進に取り組んでまいりました。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、取り組んでいた改革の速度は低下いたしました。コロナ禍を超えて進化をめざす本学が取り組むべきことは、明らかになって参りました。本来の改革の道筋に加えて、コロナ対策とポストコロナ社会を見据えた新たな施策も視野に入れて、今後は改革の速度を増していく所存です。

そして、校友の皆様におかれましては、昨年から今年にかけて、コロナ禍で経済困窮する現役学生への支援として、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」に沢山の温かいご寄付を賜り、心から感謝申し上げます。お蔭様で、コロナ禍で苦しむ多くの学生を救済することができております。早稲田の後輩学生を思う皆様の優しいお気持ちに感激で胸が一杯です。あらためまして、心から御礼申し上げますとともに、引き続きの温かいご支援につきましても、どうか宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、相模原稲門会の皆様におかれましても、昨年来のコロナ禍による影響がお仕事や生活面にも大きく及んでいることと思います。しかし、このような辛い時、逆境に強いのが早稲田人であると確信しております。校友の皆様をはじめとする早稲田関係者が、ワセダスピリットを胸にこの世界的な危機を乗り越えて行けることを心から願っております。

相模原稲門会の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念申し上げます。

2021年5月吉日
早稲田大学総長
早稲田大学校友会会長

田中愛治